

Tips – 3D プロットを一瞬でビジュアルにする方法

Gizmo を使った 3D プロットの表示（ここでは散布図とサーフェスプロットを取りあげます）を一瞬でビジュアルにする方法を説明します。

この操作を行った後、目的に合わせて詳細を調整するのが簡単です。

本コマンドはヘルプファイルには記載されていません。

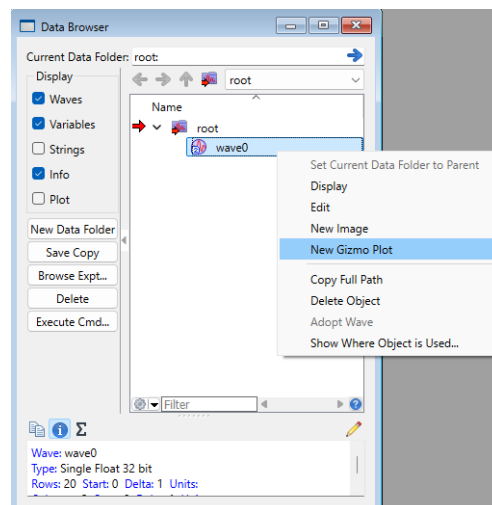
散布図の場合の例

新しい実験を作成したところからの手順で確認します。

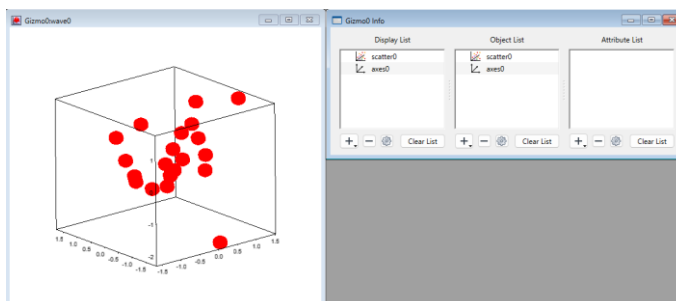
1. コマンドウィンドウで次を入力して 3D データを作成します。

```
Make/O/N=(20,3) wave0=gnoise(1)
```

2. Data Browser で wave0 を右クリックして、コンテキストメニューから New Gizmo Plot を選択します。



右のようにプレーンな 3D 散布図が作成されます。

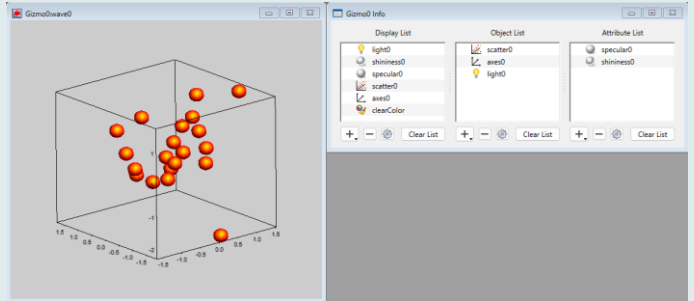


3. この散布図のマーカを立体に見えるようにし、光を当ててビジュアルにします。

コマンドウィンドウで次を実行します。

```
modifygizmo enhance
```

各種オブジェクトが追加され、3D らしく表示されるようになりました。

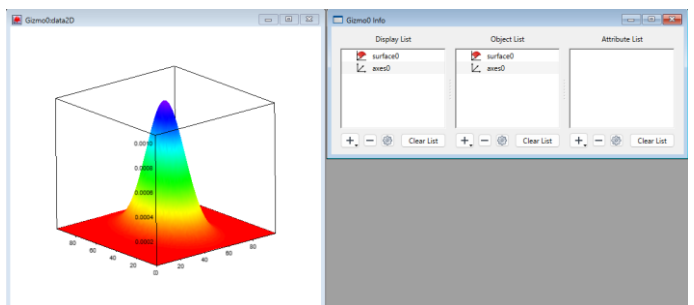


サーフェスプロットの場合の例

1. コマンドウィンドウで次を入力して 2D データを作成します。

```
Make/O/N=(100,100) data2D = Gauss(x,50,10,y,50,15)
```

2. Data Browser で data3D を右クリックして、コンテキストメニューから New Gizmo Plot を選択します。



3. このプロットに、光沢を持たせたり、光を当ててビジュアルにします。

コマンドウィンドウで次を実行します。

```
modifygizmo enhance
```

